

日本共産党市議団の公約が実現！

就任から2年目となる初宿(しやけ)市長のもと、2025年度予算案が審議されました。学校給食無償化の継続や全ての学校体育館への空調機設置、高齢者の補聴器購入費助成など、市民の願いが実現します。一方で、物価高騰による厳しい生活が強られる中で、国民健康保険税の8年連続値上げや障がい者施設への補助

金減額など、苦しい市民の暮らしに追い打ちをかけるものです。

党市議団は2月に市政学習会を開催し、不登校の悩みや市営住宅問題など、市民の皆さんからいただいた意見・要望を生かして予算案審議に臨みました。今後も市民の皆さんの願い実現に向けて頑張ります。



補聴器購入費助成が八王子市でいよいよ実現します。聞こえづらさに悩み、高額な補聴器購入費用を支援してほしいと願ってきた市民からも喜びの声が上がっています。当初、市は補聴器購入助成に後ろ向きでした。日本共産党市議団が繰り返し求める中で、市としても実態調査が行われ、医師など専門家への聞き取りを経て実施となりました。引き続き、対象となる購入店の拡大や購入後を含む支援制度の充実を求めてまいります。

市民の願いが前進しています

学校給食

- 給食費の無償化が2025年度も継続
- 学童保育所での夏休みの給食提供が全施設で実施

学校体育館空調機設置

2月市政学習会に参加した保護者から「子どもの通う小学校では体育館の空調機が使われていない。子どもたちから怒りの声が上がっている」との声を受け、予算代表質疑で質す

教育長「新年度から運用基準を定め、体育の授業や部活動などで空調機を適切に使えるよう体制を整える」



授業や部活動でも空調機が使えることを再確認！

補聴器購入費助成

所得制限なし、最大5万円の助成。

[助成申請の流れ]

- ①医療機関を受診し、聴力検査結果を受け取る
- ②八王子市で登録している補聴器販売店で補聴器の見積書を取得
- ③検査結果と見積書とあわせてオンライン申請
- ④交付決定通知書が届いたら見積書をつかったお店で補聴器購入

詳細は八王子市高齢者聞こえのコミュニケーション事業パンフレットをご確認ください



日本共産党市議団 補聴器購入費助成を求める議会論戦

2019年

加齢性難聴者への補聴器購入に対する公的補助制度の創設を求める意見書を提案

賛成11 ▶ 共産党、市民クラブ、諸派4名
反対28 ▶ 自民党、公明党、立憲、諸派1名

2021年

望月「聞こえについての実態調査をすべきでは」
市「後期高齢者実態調査の中で聞こえにくさを感じている人を把握する」

高齢者実態調査の結果、
聞こえにくさと健康リスクの相関性あり

2024年

〈東京都の動き〉

補聴器購入費助成事業が包括補助から単独補助に拡充
⇒市町村が補聴器助成に踏み出しやすくなる後押しに

2023年

望月「難聴当事者、家族、医療関係者に聞き取り必要では？」
市「八王子医師会の耳鼻科専門医から加齢性難聴には早期の装着が望ましいと意見があった」

2024年

市「補聴器助成について、制度設計も含めた検討進める」

初めて前向きな
答弁引き出す

2025年

補聴器購入費助成の実施へ!!

日本共産党 八王子市議会議員団ニュース(22期 No.23)

2025年3月31日 発行/日本共産党八王子市議会議員団

[控室] 〒192-8501 東京都八王子市元本郷町3丁目24-1

TEL 620-7317 FAX 626-3398

[八王子市議団HP]

日本共産党八王子市議団 🔍 で検索

くらしの
ご相談は
お気軽に



石井 ひろかず



市川 かつひろ



鈴木 ゆうじ



望月 しょうへい



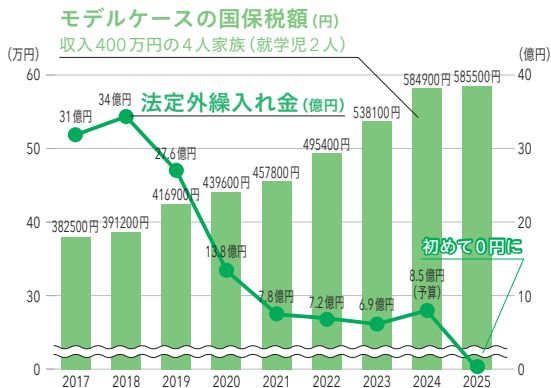
わたばやし ゆか

国民健康保険税

8年連続の値上げに反対

日本共産党市議団は、23年度決算における審議の中で、保険給付費で保険税収入の約1割に相当する13億7000万円もの不用額を出していることを明らかにし、値上げする必要はなかったと指摘しました。東京都はその指摘を事実認めて、市が東京都に納める納付金を13億9600万円減らしました。し

かしその減額分を市民に還元せず、市はこれまで行ってきた一般会計からの繰り入れをなくして更なる負担増を推し進めました。納付金下がったもとでも国民健康保険税の負担を増やし続ける市の姿勢は決して認められず予算案に反対しました。



一般会計からの繰入金を増やして国保税を値下げすること、子どもの均等割の廃止を求める請願が市議会に提出されました。本会議ではたばやし議員が請願に賛成の討論を行い、共産党と生活者ネットワークが賛成しましたが、自民・公明等の議員が反対し否決となりました。

請願審査
国保税の負担軽減を求める請願
共産と生活者ネットが賛成

地球温暖化対策 市の方針 後退でよいのか

ゼロカーボンシティー宣言した市ですが、再生可能エネルギーの予算が昨年比21%以上の削減。他の関連事業も併せて削減されています。環境教

育の拠点としてきた「あったかホール」の廃止も念頭に、北野下水処理場・清掃工場跡地活用計画を進めています。

はちバス再編 “駅に行かない・シルバーパスが使えない”方針が事実上凍結

市は、はちバス再編について「駅に行かない路線変更」「シルバーパスを使えなくする」などの再編計画を説明していました。市民が利用しにくくなることから、党市議団は再編案の再検討を求めました、3月18日の質疑で、市は委託バス会社から「路線変更は、運転手確保が困難」との回答を受け、再編計画全体のさらなる検討を行っていることを明らかにしました。市民ニーズに沿い利用しやすく変更することが求められます。



横田基地航路直下に騒音測定器常設に関する請願 → 共産党と諸派2名のみ賛成

横田基地への離着陸の際の飛行航路直下にある久保山町・小宮町・高倉町の町会の皆さんから、騒音被害の一番大きな地域で通年365日24時間測定することを求める請願が提出されました。

市は、騒音被害の大きな地域では責任を持って管理できる場所がないと説明しましたが、実際には町会会館や学童保育所など複数ありますし、他

市では民間施設で騒音測定をしている例もあります。昭島市・立川市・日野市・多摩市・町田市は年間を通して独自に航空機騒音測定を行っています。そうした他市の事業費用を見てもそれほど大きな負担にならないとして石井議員が賛成討論を行いました。共産党と生活者ネットワーク2名の議員以外は反対し否決されました。

再審法改正を求める意見書を提案 → 自民党・公明党が反対

党市議団は、冤罪を晴らしたいと願う方の再審請求に速やかに応え、全ての証拠を開示した上で公正な審理を行うよう再審法の改正を求める意見書を提案しました。市民の代表として地方議会が

ら声を上げることは、国会での議論の後押しになります。これまで530自治体で同趣旨の意見書が可決される中、八王子市議会では自民党と公明党が理由も述べず反対し否決されました。

【請願・意見書に対する各会派の態度】

	共産党	立憲民主党	自民党	公明党	諸派	結果
国民健康保険税の負担軽減を求める請願	○5人	✕5人	✕10人	✕10人	○2人 ✕5人	否決
横田基地航路直下に騒音測定器常設に関する請願	○5人	✕4人 退席1人	✕10人	✕10人	○2人 ✕5人	否決
再審法改正を求める意見書	○5人	○5人	✕10人	✕10人	○5人 ✕2人	否決

【桑都ペイの支給額と委託料】

子ども一人当たりへの支給額 5000円
支給するための委託料(一人当たり) 1167円

支給額の20%以上もの委託料

【臨時給付金における長野県佐久市との比較】

	八王子市	長野県佐久市
支給方法	桑都ペイ	現金給付
支給時期	25年6月以降	25年2月末
事務経費の割合	19%	3%

新年度に物価高騰対策として子育て世帯への臨時給付金事業が実施されます。0歳から18歳までの子ども1人あたり5000円分を桑都ペイで給付するのに、受取用の2次元コードを保護者に郵送します。しかし、桑都ペイの利用率は3割を切っており、7割以上の市民は使っていません。桑都ペイを利用していない世帯への給付方法は明確に示されません。市民の間に差別選別をも

たらず問題であり、現金で給付すべきと反対しました。通知発送事務やコールセンター業務の委託料に事業費全体の19%もの費用がかかることも問題です。佐久市では臨時給付金としてひとり親世帯に1万円を2月末に支給していますが、児童扶養手当の口座を活用しており事務経費はわずか3%です。委員会の質疑では現金給付との比較検討すらされていないことが明らかにしました。

子育て支援臨時給付金を桑都ペイで支給!?

現金給付すべき 受け取れない市民が取り残される